

拉致被害者 妻子と生活

北朝鮮、14年以降伝える

日本政府関係者が明らかにした。

政府が「拉致の可能性を排除できない」としている

田中さんと同じラーメン店の店員だった金田龍光さん

「同(ニ)にも「妻子がいる」と伝達。田中さんと金田さんの帰国意思は「ない」と説明した。日本側は二人と面会していない。

米国との関係改善を優先する北朝鮮は、拉致問題について「解決済み」と再三訴えており、進展は厳しい情勢。金正恩朝鮮労働党委員長との首脳会談を模索する安倍晋三首相がどう打開策を打ち出すかが問われている。



金田龍光さん



田中実さん

北朝鮮による日本人拉致問題を巡り、政府が被害者に認定している神戸市の元ラーメン店員田中実さん(失踪当時(ニ))が結婚し平壤で妻子と共に生活していると、北朝鮮が日本側に伝えていたことが分かった。二〇一四年以降の両国の接触で複数回、伝えてきた。

日本の外務省幹部は「フーコメント」と話した。

北朝鮮は一四年の日本との接触で、二人が「入国していた」と初めて伝えてきたことが昨年三月、政府関係者への取材で分かっている。両国が、北朝鮮による拉致被害者の包括的調査などを決めた「ストックホルム合意」を交わした一四年五月より前だった。合意後、調査が再開したが、「大きな成果はなかった」(日本政府高官)とされた。

その後、北朝鮮はミサイル発射や核実験を繰り返し再調査も中止された。ただ両国の接触は水面下で続いていた。北朝鮮は田中さん

田中さんは一九七八年、成田空港からウィーンに向け出国後、行方不明に。元工員とされる男性(故人)が「北朝鮮工員のラーメン店主に誘い出され、ウィーン経由で連れて行かれた」と告白し拉致疑惑が発覚。二〇〇五年に拉致被害者に追加認定された。

金田さんは七九年、田中さんに会うため「東京に打ち合わせに行く」と周囲に語り消息を絶った。金田さんはその直前に「オーストリアはいい所だ。仕事もあるのだからこちらに来ないか」と書かれた差出人が田中さん名義の手紙を受け取っていた。金田さんは出国記録などが確認されず、拉致被害者に認定されていない。

国を確認できない」とし、金田さんについては入国の有無を明らかにしていないかった。

田中さんは一九七八年、成田空港からウィーンに向け出国後、行方不明に。元工員とされる男性(故人)が「北朝鮮工員のラーメン店主に誘い出され、ウィーン経由で連れて行かれた」と告白し拉致疑惑が発覚。二〇〇五年に拉致被害者に追加認定された。

金田さんは七九年、田中さんに会うため「東京に打ち合わせに行く」と周囲に語り消息を絶った。金田さんはその直前に「オーストリアはいい所だ。仕事もあるのだからこちらに来ないか」と書かれた差出人が田中さん名義の手紙を受け取っていた。金田さんは出国記録などが確認されず、拉致被害者に認定されていない。

田中さんは一九七八年、成田空港からウィーンに向け出国後、行方不明に。元工員とされる男性(故人)が「北朝鮮工員のラーメン店主に誘い出され、ウィーン経由で連れて行かれた」と告白し拉致疑惑が発覚。二〇〇五年に拉致被害者に追加認定された。

金田さんは七九年、田中さんに会うため「東京に打ち合わせに行く」と周囲に語り消息を絶った。金田さんはその直前に「オーストリアはいい所だ。仕事もあるのだからこちらに来ないか」と書かれた差出人が田中さん名義の手紙を受け取っていた。金田さんは出国記録などが確認されず、拉致被害者に認定されていない。